日本光電の技術者 故青柳卓雄らが発明した パルスオキシメータの原理がIEEEマイルストーンに認定

2024年11月、日本光電の技術者 故青柳卓雄 工学博士らが発明したパルスオキシメータの原理が、IEEE（米国電気電子学会）よりIEEEマイルストーンに認定されました。
IEEEマイルストーンは、1983年に創設され、電気・電子・情報・通信の分野において達成された技術革新の中で、開発から25年以上が経過し、社会や産業の発展に貢献した歴史的偉業を表彰する制度です。
パルスオキシメータが医療の質向上に多大な貢献をした功績が高く評価されたことから、認定に至りました。

パルスオキシメータは、動脈血中の酸素飽和度SpO_2（ヘモグロビンがどの程度酸素と結びついているか）を採血せずに非侵襲かつ連続的に測定する装置です。青柳が1972年に原理を発見、1974年に国内特許を出願し、当社は世界初のイヤオキシメータを1975年に発売しました。現在、パルスオキシメータの用途は手術室、救急、集中治療、在宅医療などに広がり、医療現場で欠かせない装置となっています。また、新型コロナウイルス感染症の流行時には、世界中でパルスオキシメータの有用性が再認識されました。

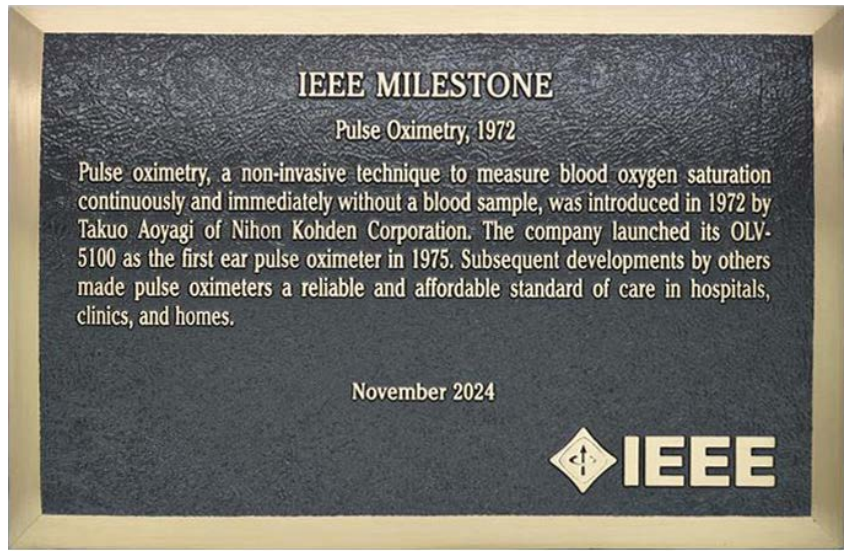
詳細については、当社ウェブサイトをご覧ください。

青柳卓雄氏とパルスオキシメータ

PDF IEEE マイルストーンに認定された業績（銘板記載内容）



IEEEマイルストーン贈呈式の様子



IEEEマイルストーン　銘板